

科目	目的・目標	内 容	単位 (時間)	方法	進 度
在宅で療養する人々を支える実習	<p>&lt;目的&gt; 在宅療養の対象及びその家族を理解し、療養に必要な社会資源や看護計画を立案・展開できる能力を養う。</p> <p>&lt;目標&gt; I. 在宅療養者とその家族が、その人らしい安全安心な暮らしを継続させるための必要な看護について考えることができる。</p> <p>II. 在宅療養者とその家族に提供されるチームアプローチについて、その方法と連携の意義を理解し、看護の専門性について考察できる。</p> <p>III. 在宅療養の場と療養者や家族に合わせた看護技術の提供方法について体験し、その方法を理解する。</p> <p>IV. 実習の生きた学びを自ら統合することができる。</p> <p>V. 自ら整え自ら学ぶ力を意図して伸ばすことに取り組める。</p>	<p>1. 訪問看護ステーション実習</p> <p>1) 複数の訪問に同行させて頂き、家族による介護や訪問看護活動を見学する</p> <p>2) 訪問看護師と共に療養の場と個別に合わせたやり方で看護技術を提供する</p> <p>3) 受け持ち療養者を訪問し、自ら看護に必要な情報収集(3側面)を行う</p> <p>4) 受け持ち療養者とその家族にとって、身体・心理・社会面からこの先の暮らしの中で生じる可能性のあるリスクを分析し、訪問看護として提供すべき看護について考察する</p> <p>5) 受け持ち療養者へ提供されるチームケアはどのように連携されているか、その実際について自ら情報収集を行い、その意義を考察する</p> <p>6) 療養者と家族の価値観や願いに沿う看護とはどういうものであるべきか考察する</p> <p>2. 居宅介護支援事業所見学実習</p> <p>1) ケアマネジメントの現場を見学し、ケアマネージャーの役割とケアプランの立案の仕方について知る</p> <p>2) 在宅療養者とその家族を中心としたケアプランの意義について考察する</p>	2   90	<p>【臨地】</p> <p>《訪問看護ステーション実習》 場所：訪問看護ステーション ステーション 10 か所</p> <p>期間：8.5 日間</p> <p>形態：1 施設 2～3 名</p> <p>《居宅介護支援事業所見学実習》 場所：居宅介護支援事業所 5 か所</p> <p>期間：0.5 日間</p> <p>形態：1 施設に対して 2～3 名</p>	2 年次 後期